

## 【記者発表動画のご案内】 日本画家・石崎光瑠の大規模回顧展！

いしざきこうよう

## 特別展「生誕140年記念 石崎光瑠」

会期／2024年9月14日（土）～11月10日（日） 会場／京都文化博物館 4・3階展示室

## 若冲を超えろ！絢爛の花鳥画

2024年9月14日（土）から11月10日（日）までの期間、京都文化博物館にて特別展「生誕140年記念 石崎光瑠」を開催します。

石崎光瑠（いしざき・こうよう、1884～1947）は、明治後期から昭和前期にかけて京都を中心に活躍し、鮮やかな色彩で独自性に富んだ華麗な花鳥画を数多く残した日本画家です。

富山県に生まれた光瑠は、石川県金沢に滞在した江戸琳派の絵師・山本光一（やまもと・こういつ）に師事、その後19歳で京都に出て、日本画の大家である竹内栖鳳に入門しました。1916年から翌年にかけてインドを旅し、帰国後、その成果として熱帯風景を取材した《熱国妍春（ねっこけんしゅん）》（京都国立近代美術館蔵）、《燦雨（さんう）》（南砺市立福光美術館蔵）を描いて文展・帝展で特選を重ね、注目を集めました。1922年の《白孔雀》（大阪中之島美術館蔵）もそうした時期の傑作です。その後、ヨーロッパにも外遊、1933年には再びインドを旅します。

光瑠は、早くから伊藤若冲に関心を持ち、1925年には**若冲の代表作を発見**、雑誌に紹介しました。また、若冲のみならず京狩野など広く古画を学習し、制作にも活かしました。

本展では、生誕140年の節目に、光瑠の故郷・南砺市立福光美術館（富山県）のコレクションを中心に、**初期から晩年までの代表作を一挙公開**し、光瑠の画業の全貌を紹介します。

**このたび、報道関係者向けに展覧会の概要・見どころを紹介した記者発表動画とデザイン版プレスリリースを公開しましたので、ご案内いたします。**ぜひご取材のご検討をお願い申し上げます。

## 記者発表動画 お申込フォーム

視聴をご希望の方は、下記フォームからお申込みください。  
お申込みの後、広報事務局より視聴用URLをご案内いたします。

## 【記者発表動画 申込フォーム】 \* 広報画像申込フォーム兼用

<https://forms.gle/EamNVQfuigMSJsx7A>

\* 同フォームより広報画像もお申し込みいただけます。

広報画像の詳細については「広報画像申込書」をご確認ください。



## デザイン版プレスリリース

本展の報道資料は下記よりご確認ください。記者発表動画と併せてご参照ください。

## 【本展報道資料 ダウンロード】

<https://www.bunpaku.or.jp/press/>



【広報画像申込書】 特別展「生誕140年記念 石崎光瑠」

【1】～【17】を広報用画像として提供いたします。ご希望の場合は下記よりお申込みください。

【申込フォーム】 \* 同フォームより記者発表動画視聴もお申込みいただけます。

<https://forms.gle/EamNVQfuigMSJsx7A>

※入力が難しい場合は、広報事務局までお問い合わせください。



<p>【1】</p>	<p>【2】</p>	<p>【3】</p>	
<p>【4】</p>	<p>【5】</p>	<p>【6】</p>	
<p>【7】</p>	<p>【8】</p>	<p>【9】</p>	
<p>【10】</p>	<p>【11】</p>		
<p>【12】</p>	<p>【13】</p>		
<p>【14】</p>	<p>【15】</p>	<p>【16】</p>	<p>【17】</p>

**【広報画像申込書】 特別展「生誕140年記念 石崎光瑤」**

**【広報用画像使用に関する注意事項】**

- 本展広報目的での使用に限ります（会期終了まで）。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 展覧会名、会期、会場、クレジットは必ず記載してください。
- 作品画像は全図でご使用ください。トリミング、文字乗せなどの加工・改変はできません。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- webサイトに掲載する場合は、72dpi 以下、400×400pixel 以下の解像度にし、コピーガードをかけてご掲載ください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階のものを「広報事務局」にお送りください。
- 掲載・放送後は、必ず掲載紙（誌）、URL、同録DVDを下記「広報事務局」までお送りください。

**【キャプション一覧】** ご希望の画像番号の□に✓をお願いします。

番号	クレジット一覧
1□	本展ティザービジュアル ※クレジット不要
2□	石崎光瑤《白孔雀》（左隻） 1922年 大阪中之島美術館蔵
3□	石崎光瑤《白孔雀》（右隻） 1922年 大阪中之島美術館蔵
4□	石崎光瑤《燦雨》（左隻） 1919年 南砺市立福光美術館蔵
5□	石崎光瑤《燦雨》（右隻） 1919年 南砺市立福光美術館蔵
6□	金剛峯寺奥殿《雪嶺の間》 ※襖絵は石崎光瑤《雪嶺》1935年
7□	石崎光瑤《虫類写生》（部分） 1896～1903年 京都市立芸術大学芸術資料館蔵
8□	石崎光瑤《筧》（左隻） 1914年 南砺市立福光美術館蔵
9□	石崎光瑤《筧》（右隻） 1914年 南砺市立福光美術館蔵
10□	石崎光瑤《熱国妍春》 1918年 京都国立近代美術館蔵
11□	金剛峯寺奥殿《虹雉の間》 ※襖絵は石崎光瑤《虹雉》 1934年
12□	石崎光瑤 金剛峯寺奥殿襖絵《雪嶺》 1935年 金剛峯寺蔵
13□	石崎光瑤《鶏之図（若冲の模写）》 1926年 富山市郷土博物館蔵
14□	石崎光瑤《霜月》 1938年 東京藝術大学蔵
15□	石崎光瑤《襲》 1942年 個人蔵
16□	石崎光瑤《聚芳》 1944年 南砺市立福光美術館蔵
17□	石崎光瑤撮影「劔岳の絶巔」 原板：劔岳初登頂の記念写真（石崎光瑤撮影）／杉本誠収集作品 安曇野市蔵

貴社名／	ご所属部署／
ご担当者／	TEL／
E-mail／	
貴媒体名／	媒体種／
掲載号・露出予定日／ 月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 □WEBへの転載あり	
サイトURL／	
媒体プレゼント用チケット／□希望（2組4名まで） ※1点以上の広報用画像使用必須 ※提供枚数に達した場合、提供を終了いたします ※発送は開幕直前になります。 お送り先／〒	

**【報道に関するお問合せ】**

**特別展「生誕140年記念 石崎光瑤」広報事務局（ネネラコ内）**

E-MAIL / [ishizaki-koyo@nenelaco.com](mailto:ishizaki-koyo@nenelaco.com) TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587  
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル